

講 義 要 項

授業科目		病態学総論		担当者	吉田 浩己
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義		1年次・後期
授 業 目 標					
『疾病の成り立ちに関する基本事項等を理解し、説明できる』					
1. 講義は授業開始前に配布するプリントとテキストに基づいて行います。 2. 講義を受ける前に、プリントに記載されている疾病の基本事項の理解に挑戦する（予習）ことにより「理解力」が涵養される。講義後に復讐を繰り返すことにより知識は「定着」します。 3. 毎回、予習、復習をすることにより、勉学が習慣化し、生涯学習力の基盤が形成されます。 4. 単位制度は、1時間の講義に対し、1時間の予習、1時間の復習を基本に制度設計されています。単位の修得には、予習と復習が不可欠です。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 病理学と疾病	病理学と疾病について説明できる。	1. 病気とは テキストP12課題①についてレポート提出	2		講義
2. 疾病の病因、疾病の基本病変	病の病因、疾病の基本病変について説明できる。	1. 病気の原因 2. 病気の分類 テキストP12課題②③④⑤についてレポート提出	2		講義
3. 退行性病変	退行性病変について説明できる。	1. 細胞の適応現象 1)萎縮 2)肥大と過形成 3)化生 2. 細胞の死 1)壊死 2)アポトーシス 3. 細胞と組織の変性 1)細胞の変性 2)間質の変性 3)色素沈着 テキストP32課題①②③についてレポート提出	2		講義
4. 進行性病変	進行性病変について説明できる。	1. 組織の修復と創傷治癒 1)組織の再生 2)肉芽組織と癒痕組織 3)一次治癒と二次治癒 4)創傷治癒に影響する因子 テキストP32課題④⑤についてレポート提出	2		講義
5. 循環障害	循環障害について説明できる。	1. 循環系の概要 2. 浮腫 3. 充血とうっ血 4. 出血 5. 血栓症 6. 塞栓症 7. 虚血と梗塞 8. 側副循環による障害 9. ショック 10. 高血圧症 11. DIC テキストP92課題①②③④⑤⑧⑨についてレポート提出	4		講義
6. 炎症	炎症について説明できる。	1. 炎症 2. 免疫と免疫不全 3. アレルギーと自己免疫疾患 4. 移植と再生医療 テキストP32課題⑥⑦についてレポート提出	4		講義

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
7. 腫瘍	腫瘍について説明できる。	1. 腫瘍とは 2. 腫瘍の分類 1)悪性度 2)組織発生 3. 悪性腫瘍の広がりと影響 1)腫瘍の浸潤、広がり 2)がんの進行度 4. 腫瘍の診断と治療 1)画像、内視鏡診断 2)細胞診断、組織診断 テキストP166課題①②④⑤⑥についてレポート提出	4		講義
8. 先天異常	先天異常について説明できる。	1. 遺伝子と染色体 2. 先天異常 3. 遺伝子異常と疾病 テキストP134課題①③④についてレポート提出	2		講義
9. 形成過程の自己評価			2		演習
10. まとめ			4		講義
		修得試験	2	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学、医学書院				
評価	1. 単位修得試験 筆記試験100点 「理解し、説明できる」ことが教育・学習目標であるので、目標に到達しているか判定するために、試験問題の回答は記述式で行い、評価します。				
備考	実務経験：医師、病理専門医として、大学の医学教育、医学研究のみならず、病院の病理診断や医療行為などの実務経験のある教員による授業です。 受講上の注意：医学・病理学（病態学総論）の修得は、主体的学習が基本です。「病理学（病態学総論）」の修得は、病態学（病理学各論）の学びに不可欠です。課題のレポートは次回授業の開始までに、提出してください。				